



第1問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

表 33

価 63.7

問 1

①度外視法による場合の完成品総合原価 749,115 千円	②度外視法による場合の月末仕掛品原価 305,764 千円
③非度外視法による場合の完成品総合原価 644,400 千円	④非度外視法による場合の月末仕掛品原価 288,328 千円
⑤非度外視法による場合の減損費 122,181 千円	

問 2

⑥減損費の内訳(原料費) 85,880 千円	⑦減損費の内訳(加工費) 36,271 千円
⑧減損費負担後の完成品総合原価 744,975 千円	⑨減損費負担後の月末仕掛品原価 309,904 千円

問 3

加工量不明不足

A材料費は、非度外視法では加工換算率を以て正しく負担し、負担金額を計算して度外視法では実在量に以て、負担関係金額を正しく算出する

問 4

⑪ か	⑫ こ	⑬ 九	⑭ あ	⑮ お
-----	-----	-----	-----	-----



第2問 答案用紙<1>
(会 計 学)

問題 1

問 1

素 1.65 係 60.9
数値内答

右期の繰引後 営業利益の 数値を比較しての割合は 3.6% であり、前年度の営業利益を
下回ると判断し、改善の取り組み、右期に数値の改善を計る。しかし、営業利益
は前年度より 営業利益を向上させること

問 2

名称	インベスト・カレージ・レイシオ	数値	2.2
----	-----------------	----	-----

問 3

全額内答

比較対象となる指標は FBIDAT である。純粋に本業による営業利益の増加、および
会計方針の変更による税金・償却費の影響を考慮して、資料の収益を反映させる

問 4

設問 1

売上債権回転期間	棚卸資産回転期間	仕入債務回転期間
32.5 日	35.0 日	35.0 日

設問 2

簡潔に答える

棚卸資産は売上債権、仕入債務の売上原価を同じで示すため
あり。

問 5

設問 1

5.520 百万円

設問 2

数値内答 X

短期的な支払能力は安全率を示す。流動比率は 1.2 であり、1 以上であり
流動性、支払いは名義上の支払はあり。長期、長期比率は、長期固定比率は
56.9% あり



第2問 答案用紙<2>
(会 計 学)

問題 2

問 1

ア	イ	ウ
4	4	24,000,000
エ	オ	カ
6,400	42,000,000	10

問 2

用語	機会原価	金額	円
----	------	----	---

問 3

ok
製品Aの製造に必要となる固定費を減少し、変動費を削減することで、市場競争力の向上を図る。

問 4

市場成長率、製品Bの売上増加率、成長率を比較し、相対的に2-クォーターAの増加率を上回る施策は有効である。

問 5

設問 1

20X1 年度末	20X2 年度末	20X3 年度末
円	円	円

設問 2

正味現在価値が 円 となるため。

アタッチメントを購入し利用するのが 有利である。 不利である。 (いずれかを○で囲む)

評 点